

技研の衛生環境 女性社員が確認

三井住建道路

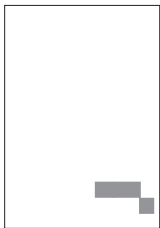
三井住建道路は、全国労働衛生週間（10月1～7日）に合わせ、衛生委員会メンバーが各地で衛生パトロールを実施した。この中で、本店衛生委員の女性社員3人が2日、千葉県流山市の同社技術研究所をパトロールし、女性目線で衛生環境を確認した。写真。

3人の女性社員は、パトロール後の総評で「ホワイトボードを活用しながら、休暇取得状況を確認するなど工夫が見えた。お互いの体調変化に気を付けながら、より良い職場環境を目指してほしい」と述べた。また、「就業スペースに比べ、リラックスできるフリー



スペースが狭く感じた。心地よく使用できる清潔なスペースを確保し、心身共に健康に留意してほしい」と呼び掛けた。

パトロールに同行した本店の佐藤耕一郎安全環境部長は「新型コロナウイルスの位置付けが5類に移行されたが、手洗い、うがい、消毒など感染対策を引き続き行い、寒暖差にも気を付けながら健康管理を徹底すること」と注意喚起した。





各地で女性社員 衛生パトロール

三井住建道路

三井住建道路は全国労働衛生週間に合わせ、各地で衛生パトロールを実施し、本店衛生委員会の女性パトロール隊が女性目線で衛生環境を確認した。

2日は衛生委員3人が、千葉県流山市の同社技術研究所でパトロールを実施し、写真（三井住建道路提供）。女性社員は「ホワイトボードを活用しながら休暇取得状況を確認するなど工夫が見えた。お互いの体調変化に気を付けながら、より良い職場環境を目指してほし

い」などと総評した。同行した本店の佐藤耕一郎安全環境部長は「新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、手洗いやうがい、消毒などの感染対策を引き続き行い、寒暖差にも気を付けながら健康管理を徹底しよう」と技術研究所の職員に呼び掛けた。

